



本会議
インターネット録画配信
しています

詳しくは19P

2p ... 市制移行に向けた飛躍の年に

特集

4p ... 開かれた議会運営をめざします
議会基本条例を制定

8p~... 町政を問う
一般質問

20p~... よりよい町づくりのために
委員会報告

とみ や だより 議会

No. 160

2013年(平成25年)
2月1日発行

発行責任者/富谷町議会議長 編集/議会広報調査特別委員会
〒981-3392 宮城県黒川郡富谷町富谷字坂松田30番地 Tel.022-358-0622

ホームページ

富谷町議会

検索





明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願い申し上げます



市制移行に向けた 飛躍の年に

平成25年の新春を迎え、町民の皆さま方に謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆さま方には日頃より、議会活動に対し多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

発展著しい富谷町は昨年末、いよいよ市制移行の第一条件であります人口5万人に到達致しました。議会と致しましても2月下旬に開会されます平成25年第1回富谷町議会定例会において、仮称ではありますが、議会内に「市制移行調査特別委員会」を設置し、平成27年10月に実施される国勢調査を踏まえ、市制移行への準備として、市制移行の条件を満たすための調査を進めてまいりる所存であります。

また昨年12月に行われました平成24年第4回議会定例会において「富谷町議会基本条例」を制定致しました。この条例は、地方議会の果たす役割と責任を自覚し、町民に開かれた議会と議会活性化に積極的に取組み、常に執行部とともに力をあわせながら、町民の皆様の福祉の向上に努めることを目指すものであります。なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、富谷町のさらなる発展と、町民の皆さまのますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。

富谷町議会議長

浅野 幹雄

平成24年第4回定例会は、平成24年12月4日から7日までの4日間の会期で開会されました。

冒頭、町長から東向陽台小学校の分離新設、安全安心メールの運用開始ほかについて町政運営報告がありました。

議案審議では町長提案による条例の制定・改定が2件、一般会計と各種会計の補正予算が5件、請願1件ほかを審議しました。

提出された議案は慎重に審議され、全案件原案どおりに可決しました。また、議員提案による富谷町議会基本条例を全会一致で可決しました。

一般質問では3日間にわたり16人の議員から質問があり、試行中の一問一答方式に議員・執行部とも慣れてきて、終始活発な議論が展開されました。

子ども医療費助成に 4533万円 追加

補正予算

おもな内訳

歳入

- 町民税 3億3,770万円増
- 基金繰入金 3億3,605万円減

歳出

- 東向陽台中学校校舎増築工事 1億5,600万円減
- 子ども医療費助成 4,533万円増



▲ 西成田コミュニティセンター「子育てサロン」

平成24年第4回定例会では、平成24年度富谷町一般会計予算に3323万円を追加し、総額119億5974万円とする補正予算が提案されました。

歳入の主なものは、当初震災の影響による減少を見込んでいた町民税、固定資産税、町民たばこ税が予想より影響が少なかったため増額となりました。また基金繰入金3億3605万円の減額などです。

歳出では、防災行政無線整備工事、子ども医療費助成事業や町内会館整備事業に追加増額され、4月オープンへのテニスコート夜間照明設備も加えられました。また、東向陽台中学校校舎増築工事の予算額については、入札による減額がありました。

その他、各種特別会計予算の補正、任期付職員採用等に関する条例の制定などの議決を行いました。

特集

開かれた議会運営をめざします

～議会基本条例を制定～

平成24年第4回定例会において、「富谷町議会基本条例」が提案されました。条例策定にあたっては、平成21年3月に設置された議会活性化調査特別委員会を中心に検討を進めてきました。本会議では、全員賛成で可決しました。

議会改革と 議会基本条例

このたび、富谷町議会は、議会が担うべき役割を果たすために必要な議会運営の基本事項を定めた「富谷町議会基本条例」を制定しました。

条例は、前文と7カ条から構成されています。

前文では、「富谷町議会は、町民の福祉の向上と富谷町の発展のため、その使命は一層重要性を増しており、議会及び議員の活動の指針となる議会基本条例を制定する」としています。1条から7条までの条文では、第1条の条例の目的にはじまり、第2・3条で議会・議員の活動原則、第4・5条で町民・町長等と議会の関係、第6条でこの条例の最高規範性、第7条で条例の見直しの手続きについて定めています。

議会基本条例 策定の背景

議会基本条例は地方自治法に基づき地方議会運営の基本原則を定めたものであり、平成18年5月に北海道栗山町議会が全国で初めて制定し、以降、全国の地方議会に制定の動きが広がっています。

そのねらいとしては、住民意識の多様化など、議会を取り巻く環境の変化が著しくなる中で、住民のニーズをこれまで以上にきめ細かく汲み取り、また、議会本来の役割を果たすために、議会の最高規範としてのルールを議会自らが定めることにより、議会の活性化を図ろうとする点にあります。

今回の富谷町議会基本条例の制定に至るまでの経過についてですが、前段として、平成21年第1回定例会において議会活性化調査特別委員会が設置されました。設置理由は、富谷町議会は、町民の負託に応えるべく町民の立場に立ち、議会とし

て最良の意思決定の役割を担う重大な責任を負っており、地方分権の進展に伴い、議会の使命は一層重要性を増しているためです。議会自らが活性化を図るとともに改革をしていかなければならず、町民の代表として、町民とともに存在感のある議会を築き、更なる町民の福祉向上と富谷町の発展に尽くすために、その指針となる議会基本条例を制定すべきとの結論にいたりました。

議会活性化調査特別委員会では、議会基本条例の制定への検討、一般質問における一問一答方式の導入などを調査・研究・検討を行いました。

また、議会基本条例を先駆けて制定した他の自治体の議会の運用状況を調査しました。

富谷町議会基本条例は、平成25年3月1日施行です。

富谷町議会 議会基本条例の概要

※条例の全文は議会だより第158号（平成24年8月1日付発行）に掲載しています。

前 文

富谷町議会は、町民の福祉の向上と富谷町の発展を議会運営の基本にすえ、町民の負託に応えるべく重大な責任を負っています。その議会の使命は一層重要性を増しており、議会及び議員の活動の指針となる議会基本条例を制定します。

第1条（目的）

情報公開と町民参加を基本として、議会運営の基本的事項を定め、町民の福祉向上と富谷町の発展を目指します。

第2条（議会の活動原則）

透明性・公正性を重んじ、町民参加を積極的に推進し、町民本位の議会活動に努めるとともに、町民の議会傍聴の意欲向上に努めます。

第3条（議員の活動原則）

議員は、議員間の^{かつたつ}闊達な討議をすすめ、積極的に町民の意見を聞き、^{けんさん}不断の研鑽と高い倫理性を保持します。

第4条（町民と議会の関係）

議会は、情報を積極的に町民に公開し、議決等の説明責任を果たすとともに、議会報告会等を開催するなど、町民の意見を聴く機会を設けます。

第5条（町長等と議会の関係）

議会における議員と町長等との質疑応答は、論点の明確化に努め、十分な審議を尽くします。一般質問は、一括質問一括答弁方式または一問一答方式を選択できます。一問一答方式の場合、町長等は、質問の趣旨を確認するため反問することができます。

第6条（最高規範性）

この条例は、議会運営における最高規範であって、議会に関する他の条例等の制定・改正は、この条例との整合性を図り、その趣旨を尊重しなければなりません。

第7条（見直し手続き）

議会は、この条例の運用状況を検証するほか、条例の改正にあたっては、議会運営委員会において検討します。

町は弁護士有資格者の雇用を想定

一般職の任期付職員の採用等に関する条例を制定

法による救済を支援する必要性の高まりと、市制移行を4年後に控え、自立的に条例等を整備する必要があるので。

法科大学院を修了し、司法試験に合格、司法修習の課程を経た弁護士資格を有する者の採用を予定しています。任期は5年以内とし、年額報酬は480万円程度となります。

生活相談の充実強化を図り、児童虐待やDVなどの被害者救済、債権管理の推進、行政不服審査、行政訴訟等多岐に対応できるものです。

問 各種相談業務に同席することになりますか。

答 相談事業ということで、同席してアドバイスをなどをもらいます。

問 各種相談は千差万別と考えられますが、未経験者を可とした理由は。

答 法科大学院を卒業し司法修習を終了していますので、十分対応できるものと思っています。

問 現在の相談体制はどうなっていますか。

答 継続します。電話相談、夜間や土日等の相談も検討します。

「地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律」では、条例の定めにより選考を経て、任期を定めて職員を採用することができると規定されています。

このことを受け、条例の制定が提案され、可決しました。

提案の趣旨と背景は、

町の説明では、「弁護士の有資格者を条件に採用するが、町の顧問弁護士にはできない」「報酬は月額29万8000円で、大卒後15年程度の主幹級職員に相当」「実務経験は不問」としており、採用の必要性が不明です。

児童虐待やDV、滞納

整理などへの対応はベテラン職員でも難しく、経験のない人を充てるのは疑問です。逆に法律の知識を盾に滞納者に対する徴収を強化することが懸念されます。法律の専門家が何人いても、住民の立場で活かさなければ役には立たないと考えます。

反対 永野 久子

法律を盾にした徴収強化を懸念

討論

効果・効率的な行財政運営に寄与

賛成 森 栄

今、全国的に地方分権が進み、各自自治体には自己決定や自己責任による行財政運営が求められています。この条例は、高度な知識・経験や優れた識見を有する者を一定期間登用して、業務に従事させる内容の条例です。

人口増加に伴う行政需要

や今後の市制施行を想定した場合、国や県からの権限委譲に対応して、効果的・効率的な行財政運営に寄与し、住民に対しては、高水準の行政サービスを提供するもので、住民の福祉向上や生活の利便性を期待して賛成します。

議会広報「誌」は本当に必要か

全国町村議会広報研修会に参加

10月29日・30日

全国町村議会広報研修会が東京で開催され、全国から約500人の参加がありました。

1日目は、「議会広報誌は本当に必要か」と題して共立女子大学教授の半沢幹一先生、「対話と活力ある議会広報のために」と題して(株)メディアブレーン代表取締役の吉村潔氏、議会広報誌の撮影方法と表現方法について日本写真家協会の川西正幸氏の講演がありました。

また、11月6日に、宮城県町村議会議長会による議会広報研究会にも参加しました。

した。

2日目は議会広報のクリニックを受けました。特に印象が強かったのは、議会広報は政策決定過程での情報を提供するものであり、町の広報は執行段階での情報提供をするものなので、結果を伝えるのではなく議会の活動を伝えるようにとのお話でした。

また、11月6日に、宮城県町村議会議長会による議会広報研究会にも参加しました。



こんなことが決まりました

● 定例会ダイジェスト ●

第4回定例会

富谷町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定	賛成11人、反対8人
富谷町都市公園条例の一部改正	全員賛成
平成24年度富谷町一般会計補正予算（第6号）	全員賛成
平成24年度富谷町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全員賛成
平成24年度富谷町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成
平成24年度富谷町介護保険特別会計補正予算（第3号）	全員賛成
平成24年度富谷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全員賛成
和解及び損害賠償額の決定	全員賛成
黒川地域土地開発公社の解散	全員賛成
黒川地域行政事務組合規約の変更	全員賛成
専決処分の承認を求めること（平成24年度富谷町一般会計補正予算（第5号））	全員賛成
パークゴルフ場建設促進に関する請願書	全員賛成
富谷町議会基本条例の制定	全員賛成
富谷町議会会議規則の一部改正	全員賛成



高校生が議会だより編集体験 広報委員会でジュニアインターンシップを受け入れ

ジュニアインターンシップ制度は、高校生が事業所で就業体験することにより、自ら職業の適性や将来設計について考える契機を与えるとともに、社会規範の必要性や意義を習得することを目的としています。

富谷町役場では毎年生徒の受け入れをしています。今年の研修プログラムでは、議会だよりの編集業務を体験してもらいました。

研修初日だったこともあり、だいぶ緊張していたようです。広報委員長から業務内容の説明を受けたあと、一緒に最終校正を行い、誌面の細部にわたるチェックに取り組んでもらいました。大変お疲れさまでした。

「とみや議会だより」編集業務を体験して

とみや議会だよりの編集という貴重な体験をさせていただき、初めて知ったことがたくさんありました。誤字脱字の確認や、文字やグラフの見やすさを考えながら、細部まで丁寧に何度も校正していることを知り、編集作業の大変さがわかりました。

黒川高等学校 奥野 茜

町政を問う

第4回定例会では、16人の議員により一般質問がおこなわれ、3日間にわたり活発な議論が展開されました。

この紙面では、通告順に各議員の質問と答弁の概要をお知らせします。詳しくはインターネットでご覧いただけます。



▲ 平成5年発行「新訂富谷町誌」



磯前 武
議員

新訂富谷町誌

4400冊の消化は

町長 町民に無償で寄贈する

方向性で

町としての第一歩は、昭和38年4月1日です。当時の人口は5091人

でした。本町の平成24年11月末日現在の人口は4万9909人で、5万人

到達まであと91人となりました。人口増の大きな要因として、仙台市中心部まで18キロの地の利が挙げられます。若生町長はその地の利を生かし、仙塩広域都市計画の第6回定期見直しにおいて、宮城県とのたび重なる協議の結果、平成22年、住宅系として県内で唯一市街化区域への即時編入が認められ、明石台東地区の住宅開発分譲が実現しました。着実な入居によつて税収の増加にもつながら、約3億円から5億円を下らない税収効果を生むことになると考えられます。これからの単独市制への財政の大きなはずみになります。5万人都市から市制を確実にした町長の政治手腕、功績は町民から高い評価を受けております。いよいよ来年は町制を施行して半世紀、大きな節目の年であり、新しい起点となります。5万人都市目前の現在、市制施行を視野に50周年記念事業は大きな役割と考え質問します。

①「新訂富谷町誌」は平成5年に6000冊を発行しています。20年間で1600冊が販売等され、残数は4400冊です。これからの在庫整理の考え方は。②町制施行50周年の記念事業の取り組みは。③記念誌の発行は。④震災の記録集の主な配布先を質問します。

町長…①残部から、決断の時期と思います。一定の基準を設け、慎重に検討し、市制移行までに町民に無償で寄贈する方向性です。②5月3日に記念式典を開催します。③広報誌とは別に発行します。④国立・県立図書館、被災3県の主要図書館、主要官庁に配布の予定です。

一般質問

5万人都市へ市制移行を問う

町長 町と大枠変わらず

町民本位の移行

町長は昨年「5万人都市へ、そして市制移行へキックオフ」宣言を行い移行準備を開始しました。この地に「富谷村」が誕生して百二十数年、今日の発展の礎を築いてくれた先人、先輩に恥じない市制を目指さなければなりません。今回の移行が、「夢と将来ビジョンはあるか、それともあり姿か」「知恵と工夫とアイディアが、目に見える移行か」「住民の想いが形になる市制移行なのか」など、新しい市にふさわしい移行かが問われており次の

質問をします。

①今、なぜ、何の為の移行か、メリット、デメリットは②町づくり審議会の役割は③今まで仙台市や黒川4力町村との合併の論議経過は④住民税・固定資産税は高くなるのか⑤農地に宅地並みの課税の不利益は⑥中心市街地60%要件は⑦都市にふさわしい文化会館・図書館設置は⑧住民アンケートや説明会の実施はいつの時点か。

町長：①大きくは財源構成と権限の範囲と幅が変わり、自立度が高まりま

す。市政運営は、メリット、デメリットを論ずる範疇にはありません。③H12年の平成の大合併時に、9市町村の未来都市づくり研究会において議論しましたが、生活圏、行政課題の違いにより実現しませんでした。④住民税等については、高くなることはありません。⑤農地の宅地並み課税は三大都市圏の要件です。⑦町には他町村にはない

6つの公民館があり、その維持管理費等を考えると相当数のものです。ここ数年に文化会館構想を始動する状況にはありません。⑧皆さんの声の高まりに応じて検討します。

企画部長：②将来の町づくりの町長の諮問機関であり、震災を経て防災のご意見も戴いております。⑥中心市街地の連たん性の考え方がいろいろあり、研究検討しています。



▲ 成田中央「ひだまりの街」



菅原 福治
議員

※連たんとは…家屋が連っていること。



森 栄
議員

シルバーワークプラザの建設を

町長 旧庁舎活用

方向性を見定めます

現在、旧役場のプレハブ庁舎は、公益社団法人富谷町シルバー人材センターに貸与されています。また2階の会議室も

が、建物は古くて手狭で、職員の更衣室や作業室、物品保管倉庫もありませ

ん。また2階の会議室も



▲ 旧役場庁舎

狭く、各委員会や各部会などの会議の開催にも支障をきたしている状況です。建物も老朽化して、雨漏りもする状態です。

旧役場庁舎を再活用して、事務室・作業室・研修室・交流サロン・倉庫などを一カ所に集約したシル

バーワークプラザの設置要望があります。今後の旧役場庁舎の再活用も含めて、シルバーワークプ

ラザの建設要望について

①今までの対応について

②今後の対応について

③課題について④指定管

理者について⑤旧役場庁

舎を再利用しての富谷町

民俗ギャラリーの移設に

ついて質問します。

町長：①シルバー人材セ

ンターから数年来、旧役

場庁舎の活用の申し入れ

や請願を受けています。

平成15年開設し、来年10

周年を迎え、今までの活

動を見るおり、しんまち

地区の中核施設として引き続き活動されると思います。②旧庁舎は昭和45年に建設され、耐震診断の結果、耐震補強工事の

必要があり、当時の見積額は6000万円です。旧学校給食センターを改

修し、今年度中に旧役場庁舎の中の物をすべて搬

出して建物内を空にし、次の方向性を見定めます。

③課題は、場所的なものや駐車場もありますが、耐震補強工事が必要であるため、当時の見積額や

内容で工事ができるか見

定めます。④指定管理者

についても、十分、検討

の範囲に入ります。⑤民

俗ギャラリーなどの集客

施設も、旧役場庁舎の中

にできないか数年来、検

討しています。

企画部長：②旧学校給食

センターに旧庁舎の保管

文書をすべて移動した後、

追って工程を考えます。

新年度事業計画について問う

町長 太子堂会館は

新年度着工完成予定

わが町の事業計画については、富谷市に向け順調に進められているところであると思われます。

しかし、昨年3月11日に発生した東日本大震災により、この2力年においては、震災復興事業を最

優先に取り組まざるを得ない状況で、わが町の事業計画にも大きな影響を

もたらしたと考えます。よって新年度（25年度）事業について、遅延を余

儀なくされたわが町の計画を早急に推進しなくてはならないと考え、次の3問を質問します。

①穀田三ノ関線は交通の

面だけの対策ではなく、富谷小学校の児童の安全性、また太子堂を含めた富谷町北部地区の発展に大きく寄与される事業であり、新年度においてどのような計画か問います。

②災害における避難所、地域のコミュニティの場として重要な施設である町内会館の中で、太子堂、志戸田会館の新築について新年度の計画はどのようなになっていますか。

③10月26日午前0時10分ごろ富谷字南裏で発生した倉庫火災において、他に延焼もなく鎮火されたこと、関係各位に感謝申



渡邊 俊一
議員



山路 清一
議員

とみや市誕生までの課題は

企画部長 人口5万人超えと

中心市街地形成

平成28年4月1日に市

制施行を目指し、職員や関係者の胸に「とみやまち・5万人都市2016

市制施行へ」のバッチが目につき質問します。

①市制施行プロジェクトチームの課題は。

②チームリーダーは誰か、またメンバー構成は。

③開催日等活動状況は。

④市になる条件で、連たん性はどうか。

⑤市の名前はどうか。

町長…バッチを着けて以来「それは何か」という声は受けています。

企画部長…①中心市街地等を課題として協議・研究しているところです。

②リーダーは企画部長で、5課7人の構成です。

③定期的ではなく、今まで平日に数回開催しています。現在各部署で検討し、集積して一覧にする作業中です。

④連たん性は地域により判断されます。

⑤富谷市ではと思います。

庁舎内に軽食コーナーなど設けよ

町長 町民交流ホールを使い

自由に食事を

市制を目指している富谷町、しかし庁舎内や周辺には食堂もなく、昼を挟む用事には不便であり質問します。

①多くの課題はあるが、庁舎内や近隣に軽食コーナーなど設置できないか。

②新給食センターなど利用できるのか。

町長…市制移行に向けて検討すべき課題ではないと思いますし、議会の新庁舎建設特別委員会でも無理と判断され、理解を受け、町民交流ホー

ルを自由に使い食べていただきたいと思います。

①営業ベースで考えると成り立たないので、当分の間、現状のままで対応いただければと思います。

企画部長…②来庁者が多く、毎日食べていただく環境にあるのかが問われると思います。



▲ 町民交流ホール



▲ 町中会館

し上げます。しかし現場から近い防火水槽に消防車が横づけできず取水ができなかったことに、近隣の住民は大変不安を感じています。消防団員からも早急の整備が望まれたところでもあり、新年度において、南裏防火水槽から毘沙門堂までの道路を拡張し、災害に備える必要性について問います。

町長…①穀田三ノ関線については、25年度予算でスタートと終点を定めながら着手する予定です。

②太子堂会館は平成25年12月までに完成します。

志戸田会館は優先度が高いとの認識です。

③制度設置基準を超えて必要であり、一定の消防車が入るだけのスペースの道路拡幅が必要です。早急に取り組みたいと思います。



浅野 直子
議員

病児・病後児保育室設置の検討は

町長 平成25年4月開所に向け

準備中

女性の社会進出が著しい現代社会では、病児・病後児保育の設置は安心して子供を育てられる環境の構築に大きな役割を果たすことにもなります。また、医療費助成には拡充もありますが、インフルエンザ予防接種などでの自己負担の軽減をし、接種しやすい状況にすべきと考え、子育て支援について質問します。

①病児・病後児保育支援の対応策は進めていますか②小規模保育、保育ママなど、今後の開所予定と目標はどのように考えていますか③国の施策の中に、子育て会議の設置準備などが盛り込まれていますが、当局の考えは④小学校3年生まで医療費助成の拡充があります。が、段階的な引き上げ対応はされますか。

町長…①病児・病後児保育は、コミュニティクリニック上桜木で平成25年4月開始に向けて準備しているところです。④今回のオータムレビューでは結論を出せる状況になり段階です。推移を見ながら、平成25年度予算の枠組みなど、精査しつつ

※オータムレビューとは…次年度に向けて町の主要課題を調整する会議。

最終判断をさせていただきま

子育て支援課長…②小規模保育、保育ママ制度は、3歳未満児の待機児童対策として大変有効です。

国の施策に伴い地域のニーズに基づいた事業計画を策定することとして

います。③地方版子ども・子育て会議の設置が市町村の努力義務となっているので、今後の検討課題としています。



▲ コミュニティクリニック上桜木

「とみや子どもまつり」に思う

教育長 実行委員会で協議し

充実を計る



三浦 邦夫
議員

今年も11月11日、他の市町村にはない素晴らしい企画「とみや子どもまつり」が開催されました。すべてが心温まるプログラムでしたが、せっかくの町を挙げての行事、内容をもう少し充実すべきと思います。①日々の練習している金管バンドの演奏をすべきでは②中学校での文化部の日々の活動の成果を発表すべきでは③中学校運動部の各種目ごとの富谷町長杯の開催。球技スポーツ、水泳大会、陸上大会、駅伝等も開催して当日表彰し、伸びゆく子どもたちのやる気を出させては④当日会場でできる剣道やダンスも発表すべきでは⑤県内外の小さな大会でも入賞チーム、個人を表彰すべきでは⑥富谷高校の文化部の発表も考えては⑦「とみやや恩師・恩人の日 および月間」では、ホームルームの時間に年1回、ご両親に「お父さん、お母さんいつもありがとう」の一言でもよいので、感謝の手紙を小中学生全員が書いては。

教育長…①②④金管バンドや吹奏楽、文化部の発表等は意義がありますが、会場や時間に制約があり



千葉 達
議員



▲ 防災訓練

避難所・町内会備蓄倉庫の 相違点

総合防災対策監

すみ分けせず
状況に応じて対応

町内会自主防災組織連
携について①代表者意見
交換の機会をつくっては

いかですか②避難所備
蓄倉庫と町内会備蓄倉庫
運用の相違点の明確化の
必要性は

③地域防

災リ

ダー養成

の見解は

④総合防

災訓練の

現状と課

題を質問

します。

町長…①

町内会単

位での活

動と位置

づけ、取り組みを強めま
す③22年度の県事業で、
当町42町内会防災担当者
が、基礎知識、防災手法、
図上演習を受講しました。
④富ヶ丘地区で避難所運

営訓練と、防災無線も
使ったの実務的な訓練を
実施しました。
総合防災対策監…②双方
すみわけせず、状況に応
じ活用していく考えです。

へそ踊りの育成・継承の考えは

教育長

今後の活動を見て
検討します

検討します

伝承民俗芸能保持団体

育成について①富谷田植
踊り、神流永代神楽、天
津流南部神楽の由来・歴

史②各団体の現状と課題
③補助金交付額など支援

体制、基本的姿勢④へそ
踊り・十三夜月の音舞い

の育成、継承を問います。
教育長…①富谷田植踊り

は、伊達政宗から衣装に
家紋使用を許され、代々、

原地区で継承してきました。
た。神流永代神楽は、岩

切の青麻神楽が江戸時代
に伝えられ、毎年4月に
大亀神社で奉納されます。

生涯学習課長…④月の音
舞いはさらなる進化・拡
充を図りたいと考えてい
ます。

生涯学習課長…④月の音

舞いはさらなる進化・拡
充を図りたいと考えてい
ます。

舞いはさらなる進化・拡
充を図りたいと考えてい
ます。

舞いはさらなる進化・拡
充を図りたいと考えてい
ます。

舞いはさらなる進化・拡
充を図りたいと考えてい
ます。

舞いはさらなる進化・拡
充を図りたいと考えてい
ます。

舞いはさらなる進化・拡
充を図りたいと考えてい
ます。

舞いはさらなる進化・拡
充を図りたいと考えてい
ます。



困難です。提案を踏まえ
実行委員会で協議します。

③富谷町中学校スポーツ
競技交流大会を開催し、

表彰もしています。その
他の競技は町内中学校だ

けでは困難です。⑤町政
功労者表彰において対応

しています。⑥富谷高校
への参加協力を次年度以

降もお願いします。⑦ご
両親への感謝の手紙に取

り組んでいる学校はあり
ますが、具体的内容は学

校が決める教育内容であ
ります。

町長…恩師・恩人の日の

条例については、十分私
もその思いです。やれる

範囲で教育委員会と連携
し、どこにも無い素晴ら

しい企画である「子ども
まつり」恩師・恩人の日」

を、町としても側面援助
をする姿勢で取り組んで

いきたいと思います。

町長…恩師・恩人の日の

条例については、十分私
もその思いです。やれる

範囲で教育委員会と連携
し、どこにも無い素晴ら

しい企画である「子ども
まつり」恩師・恩人の日」



▲「仙台市営いずみ墓園」個別集合型墓所



永野 久子
議員

集合型を含む

公営墓苑整備はいつ

町長 町内への整備にむけ

情報収集する

公営の墓苑整備については、宗教の問題や経済的事情、時代にふさわしい墓所の志向など、その必要性が高まっています。墓苑の整備は成熟した自治体として欠かさない課題だと考え質問します。

町長は公営墓苑の資料収集を開始したと答弁しましたが、①整備の時期はい

つ頃で、どのような墓苑をイメージしていますか。
②整備場所は富谷町内にすべきではありませんか。
③個別集合型墓所についても整備が必要ではありませんか。
町長：町長への手紙の差出人に対し、11月16日付で公営の墓地整備に関し

就学援助費は銀行振り込みに

教育長 手渡しを相談の場に活用

経済的に困難な家庭の子どもに教育費の支援を行う就学援助制度の適用率が、富谷町は県内で最低ランクにあります。
①収入基準が生活保護基準と同じ現状を改善し、せめて生活保護の1・3倍以上に引き上げるべきではありませんか。
②学校に親を呼び出し手渡しで支給するやり方は、子どもへの配慮に欠けます。

具体的な検討を指示した旨を回答しました。
①現在は資料収集等の準備に入った段階で、時期については明示できません。
②整備場所は富谷町内にと考えています。
③ニーズに合わせて多様な検討をしていきます。

原子力規制委員会が10月24日、全国16カ所の原子力発電所で東電福島第一原発事故のような深刻な事故（1週間当たりの被曝量が1000ミリシーベルト）が起きた場合の放射性物質の拡散予測を公表しました。富谷町は、規制委の予測範囲

放射性物質拡散予測

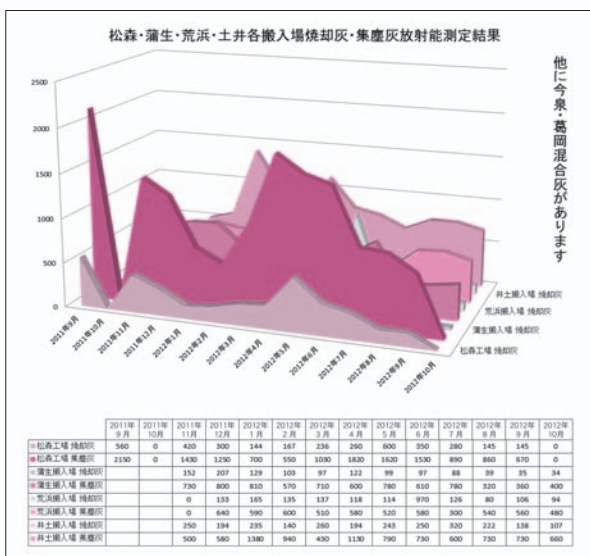
町の対策は

町長 近隣自治体の動向を

注視しながら



小川 昌義
議員





出川 博一
議員



▲ 宮沢根白石線行き止まり（明石台八丁目）

計画道路宮沢根白石線 打開の道は

町長 都市計画道路実現に
粘り強く努力

明石台東地区の開発は、計画規模約750世帯・順調に進められています。2600人の予定ですが、既に50世帯ほどの入居者がいます。入居者増にともない交通事情も変わるものと思いい、質問します。

①団地北側の明石1号線の朝夕の渋滞解消策は②町道宮沢根白石線

の県道三本木線への接続は。

町長：①丁字路が左右の交差点になっているので、信号のサイクル調整を警察と協議して解消に努めます。②県道への接続は勾配が5%以内となっていますが、9%以上で直

25年度の町道整備の施策は

建設部長 継続事業が中心か

平成25年度予算編成に関連して、一般質問等の質疑を踏まえて質問します。

①町道整備の基本方針、重点施策は②道路環境の改善方針は③町内会館の計画は。

建設部長：①国道・県道を補完する幹線町道の整備と、道路利用者の利便性の向上を基本方針とします。重点施策としては

仏所太子堂中線・郷田線

接つなぐことはできません。町としては100億円との試算もあるが、仙台市・宮城県との連携・協力を得ながら、最少の費用で都市計画道路として

泉区松陵への接続を、粘り強く皆さんと共に実現に向けて努力します。

の道路整備、穀田線の歩道新設を考えています。

②老朽化が著しい団地の舗装補修を重点とし、道路側溝の有蓋化については太子堂・富ヶ丘・鷹乃杜の3地区を重点箇所とします。

町長：③年度単位から年単位の計画に替え、2年度にまたがり太子堂会館の建て替えを計画しています。

町情報化

経費削減していますか

町長 PC端末リース契約統一は

困難

サーバー、PC端末リース契約など工夫すれば経費削減策があると思いますが対応を問います。他で削減努力をしています。

外でしたが、同じく範囲外の仙台、大崎、多賀城、塩竈各市や七ヶ浜町は避難計画を立案予定と報道されました。町の対応を問います。

また、石積最終処分場に、放射能に汚染された瓦礫焼却灰が搬入していると仙台市HPに示されています。石積処分場は産業廃棄物処分場であり、放射性物質を処分できる基準になっていますか。町民が身近に住んでいます。安全対策はどのようなになっていますか。

町長：当町は女川原発50

キ口圏域であることから、現状において避難計画の策定の予定は当座はありません。近隣自治体の動向を注視しながら、必要なことについては国、県等の対応に合わせて取り組んでいくこととします。

石積処分場についての町長への手紙を複数通、頂戴しました。放射性セシウム濃度が1kg当たり8000ベクレル以下のものについて搬入されているというふうな現状です。



▲ 富谷町民俗ギャラリー

平成22年第4回定例会 興会から民俗ギャラリーに、富谷町しんまち宿振を旧役場庁舎へ移転求める請願が出され、議会はこれを採択しました。

旧役場庁舎の活用検討、民俗ギャラリー移転、来館者をふやす取り組み、富谷小学校校庭にある内ヶ崎作三郎氏の胸像を旧役場に移転させることについて質問します。

町長：民俗ギャラリーは継続的な課題の一つとして検討を進めます。旧役場庁舎の耐震性を調査します。転用は其中で考えていくことになります。

旧役場に 民俗ギャラリー移転せよ

町長 継続的課題の一つとして 検討する



佐藤 聖子
議員

町営住宅

戸数増必要ではないか

町長 増設の予定は立てられない

日本の全住宅に占める公的賃貸住宅割合の全国平均は約6%、富谷町の町営住宅は0・58%であり10分の1以下です。高い家賃に頭を痛めている人たちが、町営住宅に入居したいと望んでいます。「住宅は福祉」の観点で町営住宅建設を考える必要があるのではないかと。また、戸建てだけではなく集合住宅の内ヶ崎作三郎氏の胸像は、地元や関係者の意見を聞きたいと思っています。民俗ギャラリーは、富谷の歴史を学び理解する施設としての運営に努め、今後のまちづくりの活性化を図るものとしていきたいと考えます。



▲ 富ヶ丘小学校通学路

自動車の交通量が多く、道幅が狭いうえに電柱があるため、車や歩行者の通行に支障が出ています。特に歩道のない通学路を

通学路の電柱を撤去せよ

町長 電柱撤去は無理 ステップが高い



安住 稔幸
議員



小泉 光
議員

町づくり

活かせ障がい者の声

町長 ご意見はヒントになります

町には人口の増加とともに障がいをお持ちの方が増え、生活にご苦労されていると思われます。

障がい者の自立に対する段階的な支援は、
⑤移動支援事業の支援実態と使いやすさは、

町長…多くの町民の声を聞くことに努め、ご意見

第3期障がい福祉計画が発表されました。バリアフリーのまちづくりを念頭に、本計画の進捗と具体的な方策を質問します。

は足らざるところの気づきになると思います。

長寿福祉課長…①緊急通報システムは70人利用しています。隣近所とのコミュニケーションが課題です。

②要支援者台帳の整備進捗と阻害の要因は。
③小規模障がい団体の結成サポートの実績は。
④介護者の高齢化による

②毎年5月に更新しています。登録は541人で阻害要因としてはデリケートな問題を含んでい

③ストーマケアの講習会を行ない、当事者の方々が集まれるよう今後もサポートします。
④家族中心の支援から、公的なサービスへのシフトが必要と考えます。はじめてに通所、次にお泊まり、グループホーム、ケアホームという段階をふまえ、自立して生活できるように支援して

⑤移動を補助するヘルパーがつくサービスです。現在、4事業所でご利用いただいています。改善のお声はまだ頂戴していません。

※ストーマケアとは…大腸癌や膀胱腫瘍などで人工肛門や人工膀胱など（ストーマ）を造設された人たちに、手当て方法を指導したり、援助をすること。



▲ 点字ブロックの無い歩道(明石台六丁目・郵便局新設地前)

安全安心担当の一元化した部署を

町長 質問の趣旨に相違なし 思慮検討中

資本整備総合交付金を活用し、電柱の撤去、無電柱化を図るべきです。
①富ヶ丘二丁目、コンビニから北に向かう通学路で丁字路までの250m。
②鷹乃杜三丁目、成田交番鷹乃杜連絡所から西に向かう坂の道で道幅が広くなるまでの100m。
③あけの平三丁目、大清水とあけの平の境から北へ向かうあけの平三丁目
の十字路までの170m。この3カ所の電柱の撤去、無電柱化を質問します。
町長…電柱撤去について東北電力に確認をしており、ほとんど不可能です。住宅地における電気単独の地中化は、実施していないということですが。
建設部長…無柱化ではなく、その場その場で取り得る安全対策を検討していきます。

最近では悪質で凶悪な事件がふえているようです。また、町内での不審者出没もあるようです。富谷町では、町民の安全安心を担当する部署は事業によつて担当課が違います。安全安心を担当する一元化した部署の設置により、事業や問題への対処に迅速に対応できると考えます。一元化した担当部署の設置を質問します。
町長…安全部の設置は現段階ではありませんが、今の質問の趣旨、全く相違ありません。私も全く相通ずる認識です。何か対応できるものを思慮検討中です。



高屋敷工業団地の現状は

町長 進出が可能な企業は

ありません

近年、富谷町も町長を携え取り、企業誘致に奮闘しているのは私も理解をし、認め



高橋 正俊
議員

ているところであり、また、町民も期待を持って見守っていると思いますので、次の質問をします。

①今の時点で進出する可能性のある企業がありますか。

富谷町では、営業ゴミ収集許可を出し控えているように思えます。私は町民が業者を選び、業者は営業努力をして正しいサービスを提供できるような環境をつくること行政だと思い、次の質問をします。

①営業ゴミ収集の金額の指導や取り決めはありませんか。②この許可について、どのような法的な規定がありますか。③富谷町には独自の規則があり

町民生活課長 許可方針の見直し中

一般廃棄物処理業許可を問う

②あるとすれば、どのような業種の企業ですか。無いのであれば、今後この計画を見直す考えはあるのか、例えば団地造成をしながら企業誘致を進めていくというような考

えはありませんか。
町長：①現時点で進出する可能性のある企業もしくは企業名はありません。②見直す考えは当座持っておりません。

議会を傍聴してみませんか



次回の定例会は2月下旬開会の予定です。
詳しくは議会事務局へお問い合わせください。TEL 358-0622



長谷川 隆
議員

「東日本大震災の記録」を問う

町長 凝縮された

460ページである

東日本大震災より1年9カ月。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われますが、いつ大震災が来てもおかしくないほど地震が多発しています。

宮城県図書館の東日本大震災文庫を見ると、新聞社や個人が出版した津波写真集は多いものの、自治体が出版している記録誌はわずかです。

このたび、人口5万人弱の富谷町が手作りで編集し、460ページにもおよぶ「東日本大震災の記録・内陸部自治体500日の取組み」を刊行し

た事は、高く評価するものであります。

そこで、記録誌の今後の活用及び防災対策について質問します。

①記録誌の特徴は何か。
②配布予定先はどこか。

③地域防災リーダーの養成は、形式でなく実践に役立つ訓練が必要では。

④備蓄倉庫はコンテンツで目立たない。赤十字などマークを書いているかどうか。

町長：①特徴としては、

東北大学災害国際研究所の先生方の監修を得たこと。小中学生23人の地震直後の素直な感想や、町

民アンケートの集計、写真付きの証言も掲載し、広報づくりをベースに読める記録にまとめました。
②行政区長の皆さんや、行政機関、報道機関、国立国会図書館をはじめ近隣の図書館、県内の自治体など、災害協定先や物資のご協力をいただいた皆さんを考えております。

受講された方へのスキルアップ研修も今後継続して行ないながら、地域との連携につなげていきます。訓練の内容については、提案なども参考にしながら、今後の訓練に反映させたいと思います。
④備蓄倉庫の表側には書いていないので、参考にさせていただきます。

総合防災対策監：①南海トラフ地震

の発生が懸念されている、西日本の内陸部自治体への防災対策の指針でもあります。

③防災リーダー講習を



富谷町議会のインターネット録画中継をしています

富谷町議会録画中継URL

<http://www.tomiya-town.stream.jfit.co.jp/>

富谷町議会インターネット

検索

富谷町議会インターネット中継
TOMIYA TOWN ASSEMBLY INTERNET STREAM

文字サイズ 小 中 大
富谷町議会ホームページ 富谷町ホームページ

トップページ 会議名でさがす 議員名でさがす ことばでさがす

録画中継

> 会議名でさがす
会議名の一覧からさがします

> 議員名でさがす
議員名の一覧からさがします

> ことばでさがす
言葉に該当する会議をさがします

ご利用について

- ・動画中継をご覧になるには、Microsoft社のWindows Media Player (無償)が必要ですが、
- ・この動画中継(映像および音声)は、富谷町議会の公式記録ではありません。
- ・動画中継を多数の方が同時にご覧になった際に、映像が表示されない場合があります。
- ・各ページに記載の文章、写真、音声、動画等の無断転載を禁じます。
- ・詳しくは「ご利用について」をご覧ください。

お問い合わせ

富谷町議会事務局
〒981-3392
宮城県黒川郡富谷町富谷字坂松田30番地
TEL: 022-358-0622
FAX: 022-358-2280
Mail: gika@town.tomiya.miyagi.jp

このサイトの全ての著作権は富谷町議会が保有し、国内の法律または国際条約で保護されています。
Copyright© TOMIYA TOWN ASSEMBLY. All rights reserved.

よりよい町づくりのために

調査しました

各委員会で、
9月～12月までの
議会閉会中に調査を
しました。

安全安心パトロール 組織的取り組みで成果

調査先：兵庫県小野市

◎調査日 11月1日
青色防犯パトロールを導入し、兵庫県の中でも先進的な取り組みをしている小野市（人口5万人）を調査しました。

小野市生活安全条例に基づき、市が安全安心パトロールを実施するもので、「事件や事故が起らない、また起こることを許さない地域社会の創造」を目的としています。

市が専任の職員（警察官OB）を採用して、職員自らが市内を巡回して

います。実施前の平成15年と比較すると、事件数は半減し交通事故も10%減少するなどの成果をあげています。

パトロールにより、道路、公園などが適正に管理されて街がきれいになったり、また市民の要望受理（動く市役所）など、市民サービスの向上が図られているとのこと。当町でも参考とすべきことが多々あると感じました。



市民防災リーダー 先頭に日常活動

調査先：兵庫県神戸市

◎調査日 10月31日
東南海・南海地震と津波に備える神戸市の防災対策を視察しました。

神戸市では、阪神・淡路大震災を教訓に、震災直後からモデル地区で自主防災組織「防災福祉コミュニティ」（防コミ）づくりをすすめ、現在すべての小学校区に結成しています。

防コミは自治会、老人会、PTA、事業所、消防団などを中心に組織され、各種防災訓練などを

行うとともに、防災だけではなく日頃からの近所づきあいなど「福祉」活動にも力を入れています。

市は防コミに小型動力ポンプや折りたたみ式担架、ハンドマイクなどの防災資機材を配備、支援しています。市民防災リーダーを計画的に育成し、近隣住民（30～50世帯）の先頭に立って防災活動を行う体制を整えている点など、教訓的でした。



総務常任委員会

※町の財政、町税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

新交通システム 研究調査必要

調査先：沖縄都市モノレール株式会社

◎調査日 11月14日

新交通システム2両編成（定員165人）のモノレール「ゆいレール」を調査しました。

ゆいレールは平成15年開業し、那覇空港駅から首里駅までの15駅、12・9kmを27分で走ります。定時・定速で走り快適な交通ネットワーク。排気ガスがなく、騒音・振



動が少ない。安心の制御システムで安全。運転本数は平日231本、利用乗客数は1日約3万7000人、初乗り運賃220円、起終点間が320円です。

昭和56年度の事業採択以来、開業まで22年、建設費用総額は1100億円を要しました。

ゆいレール事業経営主体は、第3セクター方式175人で運営されています。

富谷町でも、新交通システム推進の調査・研究が必要と考えます。

「音楽によるまちづくり」 推進

調査先：沖縄県沖縄市

◎調査日 11月15日

沖縄市中心市街地活性化事業を調査しました。中心市街地の賑わいと快適な生活空間の創出を目的に、「商店街から交流街へ」をテーマに、音楽・芸能など地域資源を活用し、商業の活性化をはじめ、住環境と都市機能の向上により、暮らし



やすく賑わいのあるまちづくりを目指し、事業を実施しています。その中心的施設が総事業費約80億円をかけたホール・スタジオを備えた、3階建て「ミュージックタウン音市場」です。

諸外国の影響を強く受けた国際色豊かな町と、

沖縄伝統文化が織りなすコザ文化と呼ばれる特異な文化風土を生かした「音楽によるまちづくり」推進事業で、賑わい創出、人材育成、産業創出に結び付くコンセプトです。

町づくり推進に情熱的姿勢が感じられました。

富谷町教育委員会の 体制十分か

◎調査日 10月2日

いじめ問題が全国的に問題になっている中、定数5人の教育委員が現在3人体制で運営していることが問題ではないか調査しました。

教育委員会は、幅広い分野の教育行政を一体的に進めるために合議制です。現在の3人体制は法的に問題ないと思うが、



最近の状況を考えた時、教育民生常任委員会としては、早期に町長が委員の任命について議会の同意を求めるべきであるという意見が出されました。また、プロポーザル方式で一般備品を購入した給食センターを調査、目玉にしていた県産材ベンチや野菜疑似ソファアを

購入せず別の備品に変更した点と、備品購入をプロポーザル方式で購入する事例があったのかなどを調査し、一般競争入札のほうが金額的に低かったのではという意見が出されました。

365日体制で 子育て支援

調査先：佐賀県唐津市・熊本県山鹿市

◎調査日 10月23・24日

佐賀県唐津市・熊本県山鹿市の「子育て支援」について調査しました。調査項目を同じにして2つの市を調査しました。唐津市のNPO法人「唐津市子育て支援情報センター」では、365日体制で病後児保育、食育講座などの活動をして



いた点は評価できました。NPOを中心とした活動は素晴らしいと感じました。山鹿市は人口減少を食い止めるため、子育てしやすい市を目指し、次世代育成支援後期行動計画「やまが子育て浪漫物語」を柱として、子育て

応援の店の推進、高校生と赤ちゃんふれあい交流、公設民営の放課後児童クラブを各地域に設けるといった事業を行っていました。

子ども未来基金で 子どもの夢応援

調査先：福岡県福岡市

◎調査日 10月25日

政令指定都市の福岡市において、わが町の将来を展望し、「子ども未来基金設置」「子どもの夢応援事業」「障がい児へのサポート態勢」「保育園・保育所・家庭的保育事業」について調査を行いました。

未来基金・夢応援事業について、また185カ所の保育所があっても平成26年「保育児待機児童解消」にむけて、各地域ごとの人口動態を綿密に調査し計画年度を決めて保育所整備を実施している点などについても、大いに参考となりました。発達障がいの子どものための

取り組みは、医師が心身障がい福祉センターのセンター長となり、不安を感じた段階から相談できる体制です。子ども基金含め長期・短期の計画年度を決めた取り組みは、たいへん参考になりました。



パークゴルフ場 建設促進を

請願書を採択

平成24年第3回定例会で教育民生常任委員会に付託された「パークゴルフ場建設促進に関する請願書」を審査しました。

この委員会意見を受け本会議に上程され、全議員の賛同が得られ採択したものです。

教育民生常任委員会による審査概要

ついては、平成22年2月に1156人の署名を添えて町に申し入れていた経緯がありますが、今般議会に対して請願の形で町民の要望が提出されました。

本件を付託された教育民生常任委員会は、3回にわたり委員会を開催し

慎重な調査を行いました。その結果、委員会の見

解として、「請願の趣旨は十分理解できるので実現を図りたい」との結論を得るにいたしました。

平成24年第3回定例会で教育民生常任委員会に付託された「パークゴルフ場建設促進に関する請願書」について、10月2日、11月5日・8日の3回審査を行いました。11月5日には請願者・国分四夫氏と紹介議員から、パークゴルフ場は昭和58年北海道幕別町で生涯スポーツとして考案され、競技人口も年々増加していること、本町でも成田地区を中心にパークゴルフ場建設の署名活動を実施したこと、パーク

ゴルフ場におけるシルバー人材センターの就労拡大、プレーにより健康増進と家族のコミュニケーションが強まるなどの説明を受けました。11月8日には、おおひら万葉パークゴルフ場と丹勝パークゴルフ場（大和町）に行き、建設費、維持費などを調査、年間維持費は約3500万円程度かかることなどがわかりました。調査をふまえ委員会で協議した結果、全会一致で採択することを決定しました。





私たちは富谷レディースは、昭和63年、町主催のソフトテニス講習会を

第16回

町民の声

富谷レディース ソフトテニス

きっかけに設立し、今年26年目に入ります。初めてラケットを握った人、学生時代に経験のある人など様々でのスタートでしたが、長年の地道な練習の結果、これまでに県代表として全国大会に度々出場しているメンバーも出ています。設立以来熱心な指導をいただいている江刺先生のお陰と、少人数ながら常に真剣に向上心を持って取り組んできた成果と思っています。

今年4月、私達の念願だったオムニコートがいよいよ完成します。これからは恵まれた環境の中、会員も増えることを期待しながら、ますます目標に向かって練習に励んでいきたいと考えています。

平均年齢はちよつと高めですが、毎週火曜日の午前、皆

きつかけに設立し、今年26年目に入ります。初めてラケットを握った人、学生時代に経験のある人など様々でのスタートでしたが、長年の地道な練習の結果、これまでに県代表として全国大会に度々出場しているメンバーも出ています。設立以来熱心な指導をいただいている江刺先生のお陰と、少人数ながら常に真剣に向上心を持って取り組んできた成果と思っています。



会員募集中!!

《問い合わせ先》
富谷レディースソフトテニス
代表 橋本
☎348-5154

若々しく賑やかに練習していますので、興味のある方、是非のぞいて見て下さい。

また、町への要望としては、テニスコートの予約が一月単位でできるよつ、検討していただきたいです。

今号の表紙

たくさんの応募
ありがとうございました。



はるか 丸山 悠花ちゃん(姉)・優花ちゃん(妹)
(平成18年8月24日生まれ)《大清水》

一卵性の双子ですが、顔も好みも違ってきました。4月からは小学生。色々な事にチャレンジしてね。

次号表紙 ふたごちゃんの 写真募集

〈平成25年5月1日発行予定〉

(応募要項)

①題材…
「就学前の双子」

(三つ子も可)

②応募〆切…

平成25年4月5日(金)

(消印有効)

③作品は未発表のものであり、他に発表予定のないものに限りまふ。

④カラー写真(アナログ

写真・デジタル写真どちらも可)加工は不可
サイズは紙焼プリント2Lサイズ以上

⑤採用作品の版權・使用權は富谷町議계에 属します。なお、作品の返却はしません。

※その他詳細についてはお問い合わせください。

あて先・お問い合わせは…

富谷町議会事務局

TEL 022-358-0622

E-mail
gikaijimu@town.tomiya.miyagi.jp

編集後記

町政施行50年、昨年末には人口5万人到達もあり躍動し続ける富谷町。今年の干支「癸巳」は蓄積してきた力を放出して、時代を変えていくという意味があるようです。新政権の下、経済再生、外交、社会保障問題などスピード感をもって誠実に対応していただきたいと思っていますし、何よりも被災地の復興は重要課題です。現場第一で、住民に寄り添って取り組んでもらいたいと思います。

我が恩師に「桜梅桃李に生きよ」と教わりました。桜は桜、梅は梅。全ては自分らしく生きよとの意味です。広報委員になって2年目。諸先輩方にご指導を仰ぎながら、広報づくりに携われることに感謝し、また広報委員一同、議会、だよりが皆さまにより一層分かりますように、これからも努力を重ねてまいります。

広報委員 浅野 直子